

平成 21 年 6 月 29 日  
文部科学省国際統括官付

## ESD（持続発展教育）世界会議出張報告

1. 日程：平成 21 年 3 月 31 日（火）～4 月 2 日（木）
2. 場所：ワールド・カンファレンス・センター・ボン（ドイツ）
3. 主催：ユネスコ、ドイツ教育省、ドイツユネスコ国内委員会
4. 我が国出席者  
玉井日出夫 文部科学審議官（31日・1日のみ）  
木曾 功 文部科学省国際統括官  
渡辺その子 文部科学省大臣官房国際課企画調整室長  
山本 忠通 ユネスコ日本政府代表部大使 ほか

### 5. 会議概要

2005年から開始された「ESDの10年（DESD）」の中間年を迎えるに当たり、DESDのこれまでの取組や今後5年間の戦略策定等に関する意見交換を実施するESD世界会議が3月31日から4月2日まで、約150の加盟国から約900名の参加により、ドイツのボンで開催された。

会議の冒頭、松浦ユネスコ事務局長の挨拶（松浦事務局長急病のため、バーネット教育局ADG代読）があり、DESDの取組の成果と今後の課題について言及するとともに、2014年のDESD最終年に日本において締めくくり会合を開催するという日本の提案を歓迎する旨の発言があった。またシャバーンドイツ連邦政府教育大臣、マシェルモザンビーク前教育文化大臣のスピーチがあった。

午後には50カ国以上の大臣級の代表が集まるハイレベルセグメントが開かれた。玉井文部科学審議官がアジア太平洋地域の国を代表して声明を読み上げ、我が国のESDの取組への貢献を述べるとともに、アジア太平洋地域の取組の紹介、2014年の締めくくり会合を日本で開催したい旨の発言を行った。

会議は、全体会合、ワークショップなど様々な枠組みでESDの評価と今後の課題に関する議論が行われ、4月2日の最終会合において今後の更なるESDの推進を図る「ボン宣言」（別紙）が採択された。